

彩北たより

「第41回平野地区スポーツフェスティバル」のお知らせ

と き 10月4日（日）
場 所 松山第二小学校
開 会 式 午前10時
閉 会 式 正午予定
 プログラムについては、9月号参照
 ※今年のお楽しみ抽選会はありません。
 ※雨天の場合は中止です。
 皆様の参加をお待ちしております。

市民ウォーキング

★10月ウォーク

○森林公園（秋の花）コース（約10km）
と き 10月8日（木）
集合場所 平野市民活動センター
受付時間 午前8時30分
コ ー ス 平野市民活動センター→
 森林公園南口→平野市民活動センター



★11月ウォーク

○秋葉神社・宗悟寺コース（約7km）
と き 11月12日（木）
集合場所 平野市民活動センター
受付時間 午前8時30分
コ ー ス 平野市民活動センター→ぼたん園→
 葉神社→宗悟寺→平野市民活動センター



令和八年十月一日発行
 平野市民活動センター
 第三八三号 〇二五―一二二〇



東松山市公式
 モバイルサイト
 二次元コード

花いっぱい活動について

○ハーフ苗の配付について

10月21日（水）に秋のハーフ苗を各自治会に配付する予定です。
 今回は、ワスレナグサ、キンセンカ、クリサンセマム、ビオラ、キンギョソウなどで、花いっぱい推進員の皆さんを中心に各自治会の花壇に定植されます。日ごろより花壇の整備、除草、水やりなどしていただきありがとうございます。
 今後も花の管理をよろしくお願いします。

○秋の育苗講習について

花いっぱい推進活動に参加している自治会の皆さんを対象に、秋の花を育てるための育苗講習会を開催いたします。

と き 10月27日（火）午前10時～11時

と ころ 平野市民活動センター2階会議室

※お忙しいことと存じますが、各自治会2名以上の出席をお願いします。



春の育苗講習会



春の育苗講習会

○「私のまちの花いっぱい写真展」について

「私のまちの花いっぱい写真展」の写真募集期間は10月30日（金）までで、1人（1団体）1点です。写真展の開催期間は、2026年11月17日（火）～25日（水）正午までです。

展示場所は、メガセンタートライアル東松山店内1階です。（小松原町11・2）

詳細は、各自治会掲示板等でご確認ください。



「第48回日本スリーデーマーチ」について

参加の事前登録は終了しましたが、当日の参加登録が可能です。（当日受付窓口へ）

○開催期間

11月1日（日） 2日（月） 3日（火・祝）

○当日参加費 1日につき 大人 1、500円

高校生以下 500円

○参加グッズ ゼッケン、大会1日分のコース地図

※バッジ、記念品、大会誌はありません。

▼平野市民活動センターでは、次の業務（申請・交付）を行っております。
 ・住民票・印鑑証明書（登録カードが必要）の交付申請
 ・戸籍謄本抄本等の交付申請
 ・粗大ごみの申請等

子ども食堂「えんがわ」の開催について

子育て中のパパ・ママ、小・中学生、ひとり親世帯の方や障害のある方、おひとり暮らしのシニアの方、皆さんお気軽にご飯を食べに来てください。

と き 毎月第4火曜日
場 所 平野市民活動センター1階工芸室
時 間 午後4時30分〜午後6時
費 用 小学生以下無料、中学生以上300円
対象者 どなたでも(どの地域の方でも参加可)
ご予約&お問合せ

ボランティアリーダー 末広かおり
 080-4936-0206



平野地区第32回チャリティーゴルフ大会

「第32回チャリティーゴルフ大会」を開催します。奮って参加をお願いします。

と き 11月26日(木) 雨天決行
場 所 川越カントリークラブ
費 用 13,100円(昼食・パーティー費込)
参加費 1,000円
募集人員 50名

対 象 平野地区内に在住・在勤の方

締 切 日 10月末日

競技方法 後日参加者に資料を配布

連絡先 事務局・有岡39-3014

080-3691-4746

「秋葉道と殿様街道を歩く」を紹介します。

松山宿から大谷須ヶ谷の西丘陵上にある秋葉神社への勝路がいわゆる秋葉道で、熊谷街道から築瀬橋の北でわかれ、市民病院の西方を登って万五郎稻荷の西を通り、前川橋を渡って河童地藏から現COE DOKラフトビル醸造所の東に出、大谷つ原の月待・巳待供養の石仏の前を抜けて岩鼻を下り秋葉神社に達する幅九尺(約二、七メートル)の道路のことで、明治五年の道標が今も要所の五か所に残っている。この道はかつて、大谷地区の人々にとって松山宿への主要道でもあったのである。

秋葉神社の西隣に陣屋を持つ旗本森川氏は代々大谷村の地頭で、江戸屋敷との間をしばしば往来したと思われ、その道を人々はいつしか「殿様街道」と呼んだ。伊勢塚地域の古老は、近年まで秋葉道のことを「トノサマカイドウ」と呼んでおり、東平の人々は「殿様街道は第二小学校の北にもあった」と伝えている。前者は

松山宿・川越宿を経て、後者は国指定の「大谷瓦窯跡」下を通って行田街道に出、小八ッ林河岸からは船で荒



川を上下して、江戸とを往復する街道のことであった。

※参考文献(引用)

清水 清(一九九六)『ふるさと探訪』

東松山市教育委員会生涯学習部

北地区市民活動センター(当時)

※注意 傍線部分は現在ありません。

似ている漢字くらべ⑥折(いのる)と折(おる)

「折る」と「折る」。読み方も意味も違いますが、漢字の右側がよく似ています。見分けるポイントは左側の部分です。「折」は「示(しめすへん)」で、神様や祭壇など、神事に関係する意味を持つ部首です。「祈願」「祈念」「祈祷」など、神仏に願いを込める言葉に使われます。

一方、「折」は「手」の動作に関係する字で、物を曲げたり、二つにしたりする意味があります。「折り紙」「骨折」「右折」「折半」など、私たちの身近な言葉にも多く登場します。

同じ「おる」という音を持つ「祈る」と「折る」ですが、「祈る」は願いを込めること、「折る」は物を曲げたり、区切ったりすること。意味はまったく異なります。

漢字は部首に注目すると意味を想像できることがあります。形の似た漢字も部首に注目すると意味を想像できることがあります。

形の似た漢字も、部首の違いに目を向けると、より楽しく覚えることができます。